

## 5 材料表

No.	品名	寸法等	数量	No.	品名	寸法等	数量
1	木台	ラワン10×120×200	1	12	連動棒	軟鋼棒 3.×120	1
2	側板	ラワン 6×30×70	2	13	支持板	ラワン 8×15×25	1
3	断熱板	石綿 6×62	2	14	磁石	フェライト t3.5×20 <sup>φ</sup>	2
4	ヒーター台	トタン t0.3×60×110	1	15	パイロットランプ	ネオンランプ AC110V	1
5	断熱板	石綿 60×81	1	16	差込プラグ	120V, 15A	1
6	絶縁板	雲母板 t0.5×60×81	2	17	絶縁チューブ	10 <sup>φ</sup> ×100	2
7	ヒーター	AC100V, 150W	1	18	コード	30芯, 500	1
8	磁石保持金具	トタン t0.3×35×120	1	19	ラグ板	卵形	2
9	ターミナル	2P	1	20	木ねじ	さら, ねじ長 6.12	各4
10	調整つまみ	頭10 <sup>φ</sup> (樹脂)ねじ長12	1	21	ステップル	絶縁用 5/8	2
11	スイッチ片	燐青銅板 t0.3×10×60	1	22	ビスねじ	3 <sup>φ</sup> ねじ長 10	1

## 6 製作上の留意事項

- (1) 右側板には、パイロットランプとスイッチ片を取り付ける。
- (2) 図-1 ③の断熱板は6×62とし、中央より折り曲げ二重にして取り付ける。
- (3) ヒーターを固定する際は、フォルマル線で2回程しばりつける。
- (4) ターミナルを木台に取り付ける際、下部のねじ頭が若干でるので、下穴をあけ、安定するようにする。
- (5) 調整つまみは、磁石の落下する時間調整のために取り付けるので、保持金具と連動棒の接合部に下穴をあけ取り付ける。なお、頭部とフェライト磁石をエポキシ系の接着剤で接合するとよい。
- (6) スwitch片は、連動棒に対して平面で接するように、右側板に取り付ける。
- (7) 連動棒は前者の(6)とスイッチを構成するので、さびや油、塗料が付着していると通電しないので、よくふきとっておく。
- (8) 支持板に連動棒を取り付ける際、裏側に卵形ラグ板をはめ、ビスねじでしめつける。連動棒の上下によりスイッチがON, OFFになるので、しめつけ具合を調整する。
- (9) 最上部には、食器用アルマイトをのせるので、その中に20×20位のトタン片を入れ、フェライト磁石の吸着をはかる。

## 7 試験と調整

製作が終り、一応完成したら、次の順序と方法により試験と調整を行なう。

- (1) 回路図にもとづき、配線が正確であるかどうか調べる。
- (2) 食器に亜鉛鉄板片を入れる。
- (3) 連動棒の右端を下げ、磁石を食器底に吸着させてスイッチをONにする。